

歌を使った日本語教育 —「敬語の歌」について—

溝口 博幸 *

Japanese Language Education Using Music “The Song of Honorifics”

Hiroyuki MIZOKUCHI *

There are honorifics not only in Japanese but also in foreign languages. However, the content and usage differ depending on the culture of the country. For example, in Korean, honorifics are used to describe the actions of one's parents, even if the listener is a superior or not a family member. In Japanese, honorifics, used properly, depend on whether the listener or reader is one's superior, one's inferior, or whether he is “uti no hito(an insider)” or “soto no hito (an outsider).

In recent years, The Agency for Cultural Affairs has shown five types of honorifics, but expressions of respect and humility are mainly referred to in this paper. We will think about Japanese honorifics while explaining the composition of “The Song of Honorifics” created as teaching material in 2020. The first verse of this song is composed of three patterns of respect expressions: verb+reru, o+verb+ninaru, and honorific terms. The second verse consists of two patterns of humble expression: o+verb+suru and humble terms. Polite forms are not included in the lyrics of “The Song of Honorifics”. Those forms are represented in the “Masu-form Song”, which teaches polite expressions.

Learners are expected to efficiently study honorifics and enjoy using “The Song of Honorifics”.

Keywords: respectful words/humble words, me-ue/me-sita(one's superior/one's inferior), uti/soto(insider/outsider)

1. はじめに

日本語に限らず外国語にも敬語はある。しかしながら、その国の文化の違いなどによってその内容や使い方が異なっている。例えば、韓国語で自分の親のことについて言及する場合、聞き手が目上の人やソトの人であっても自分の親の行為などについて尊敬語を使う。日本語では、行為者が目上なのか目下なのか、あるいはウチの人なのかソトの人なのかによって、敬語の使い分けをしている。また聞き手・読み手に対しても敬意を示す表現をする。

近年、文化庁は5種類の敬語を示したが、本稿では、主に「尊敬の表現」「謙譲の表現」について言及する。2020年に教材として作成した「敬語の歌」の構成内容について説明を行ないながら日本語の敬語について考えていく。

「敬語の歌」の1番の歌詞は、3パターンの尊敬表現（～れる/お～になる/敬語の特定語）、2番は2パターンの謙譲表現（お～する/謙譲の特定語）で構成されている。丁寧語は、その代表の「ます形」について表した「ます形の歌」があるので、「敬語の歌」の歌詞には含めていない。

日本語学習者には、この「敬語の歌」を使って楽しく効率よく学習していただきたい。

2. 日本語の敬語について

日本語の「敬語」とは何か、田近(2008)によると「敬語は、話の相手や話の中で取り上げた人などの動作や物事を高めたり、自分の動作やものごとをけんそんしたりして、敬う気持ちを表す言い方です。目上の人や初対面の人、改まった場所などで使われます。」とある。敬語の種類については、大石初太郎(1974)は、敬語を「尊敬語」「謙譲語」「丁重語」「美化語」に分け、それぞれ次のように説明している。

- (1)「尊敬語とは、話題の人を高く待遇し、その人に敬意を表する敬語である。話題の人、その人に属する物・事、その人の行為・状態などを言うのに用いる。」
- (2)「謙譲語とは、話題の人を低く待遇し、聞き手あるいは話題の人の相手に敬意を表する敬語である。話題の人、その人に属する物・事、その人の行為・状態を言うのに用いる。」
- (3)「丁重語とは、聞き手に対して、特別な配慮をもち、直接、聞き手に敬意を表する敬語である。」
- (4)「美化語とは、自分の言葉を上品、きれいにする敬語である。」

文化庁(2007)は敬語を次の5種類「尊敬語」「謙譲語I」「謙譲語II(丁重語)」「丁寧語」「美化語」に分けてい

* 近畿大学工業高等専門学校

総合システム工学科(共通教育) 特任教授

る。その中の「丁寧語」と「丁寧語」の機能や使い方はほとんど同じであり、大石初太郎が述べている「丁寧語」に含まれるのではないかと考えられる。文化庁の挙げている「謙譲語Ⅱ（丁寧語）」には、「参る」などが含まれており、例えば「1番ホームに電車が参ります。」などの場合を指している。これは聞き手（この場合利用客）に対して「電車が来ること」を丁寧に表現していると言える。機能は、丁寧語と同等である。ただし、同じ「参る」でも、「お客様がこちらにいらっしゃらなくても、私がそちらに参りますので、ご自宅でお待ちください。」だとかどうか。謙譲の機能を持っていると言えないだろうか。「同じ言葉でもいくつかの機能を持っている」と考えたほうがわかりやすい。その方が日本語学習者にとっても理解しやすいと思われる。同じ言葉でも、いくつかの文法的な機能があり使い分けているものは他にもある。例えば、「教えられる」という言葉はどうだろう。(1)「私はあの方に人情というものを教えられた。」(受身表現の機能)、(2)「田中さんは、国語だけでなく英語も教えられる。」(可能表現の機能)、(3)「鈴木先生は本年度で定年となります。本校で35年間も数学を教えられました。長い間、ありがとうございました。」(尊敬表現の機能)と使い分けができる。同じように「参る」も「謙譲表現の機能」と「丁寧表現の機能」を併せ持っていると考え方が自然だろう。歴史的に以前は謙譲語に含まれていたことで新しい「丁寧語」という項目に分類するよりも、丁寧と謙譲の機能を持っているので、「丁寧語」と「謙譲語」の両方に入れたほうがいいのではないかと考える。言葉の変遷の過程に注目することは重要なことであるが、現在の日本語の敬語表現は何かと考えた場合、どのような「機能」を持っているかということに注目して分類することが望まれる。日本語学習者にとってもその方がわかりやすく学習しやすいと考える。

3. 「敬語の歌」について

3. 1 概要

「日本語教育のための音楽教材」として作成した「敬語の歌」は、このシリーズの17作目である。因みにこれまで、学習項目ごとに、(1)て形の歌・(2)形容詞の歌・(3)受身形の歌・(4)可能形と誘いの歌・(5)使役形の歌・(6)条件の歌・(7)意志形の歌・(8)命令形の歌・(9)やりもらいの歌・(10)そうなの歌・(11)ない形の歌・(12)ます形の歌・(13)疑問詞の歌・(14)他動詞 自動詞の歌・(15)反対語の歌・(16)オノマトペの歌を作成し、国内外の複数の大学等で使用されている。

今回作成の「敬語の歌」は、動詞を扱ったもので、歌詞の1番に「尊敬表現」、2番に「謙譲表現」を織り込んだものであり、この基本の2つの敬語表現が学習できる。この教材も、他の「日本語教育のための音楽教材」と同様に、①歌の音声、②カラオケの音声、③歌詞シート・クイズシート、④パワーポイント（歌詞とクイズ）、⑤楽譜がセッ

トのものである。(ただし、CDは2020年のコロナ禍のためにミュージシャンとの共同での作業ができず、後日の作成となる。)

本稿がそのまま教材として使用できるよう、歌詞・クイズ・楽譜を後方に付録として提示する。

APPENDIX-1 → 歌詞（日本式ローマ字付き）

APPENDIX-2 → 歌のクイズ

APPENDIX-3 → 楽譜（歌詞付き）

3. 2 「敬語の歌」の歌詞について

敬語学習として「敬語の歌」を効率よく使ってもらうために、ここで歌詞の構成内容について説明をしていく。歌詞1番は尊敬表現の主なもの3パターン、歌詞2番は謙譲表現2パターンで表すことができるということがわかるよう、それぞれの単語を連続して採用している。

まず、歌詞1番を見ていこう。

◇♪ 歌詞1番

＜尊敬語＞

そんけいご そんけいご そんけいご
 (“Sonkeigo” “Sonkeigo” “Sonkeigo”)

めうえのひと を うやまう ことば です。
 (Meuenohito o uyamau kotoba desu.)

めうえのひと が されます。 なさいます。
 (Meuenohito ga saremasu. Nasaimau.)

ソトのひと が されます。 なさいます。
 (Sotonohito ga saremasu. Nasaimau.)

たべられます。 おたべになります。 めしあがります。
 (Tabe-raremasu. O-tabe-ninarimasu. Meshiagarimasu.)

のまれます。 おのみにになります。 めしあがります。
 (Nom-aremasu. O-nomi-ninarimasu. Meshiagarimasu.)

いかれます。 おいきになります。 いらっしやいます。
 (Ik-aremasu. O-iki-ninarimasu. Irassyaimasu.)

いわれます。 おいしいになります。 おっしやいます。
 (Iw-aremasu. O-ii-ninarimasu. Ossyaimasu.)

どうぶつたち に えさを やられます。
 (Dōbututata ni esa o yar-aremau.)

おやりになります。 えさを くださいます。
 O-yari-ninarimasu. Esa o kudasaimau.)

歌詞1番は敬語の中の尊敬表現である。初めに「そんけいご そんけいご そんけいご」とあり、1番が尊敬表現であることがわかる出だしである。次に「めうえのひとをうやまう ことばです。」で、尊敬語とはどのような機能を持っているかを簡単に一言で示している。次の「めうえのひとが されます。なさいます。」「ソトのひとが されます。なさいます。」は、機能説明の追加でもあり、「する」という基本の動詞に関する表現の「されます」「～れる」の語形と「なさいます」という「敬語の特定語」の2つのパターンを示している。(動詞「する」の「お～になる」の語形はない。)

次の「たべられます。おたべになります。めしあがります。」と「のまれます。おのみになります。めしあがります。」は、3パターンでそれぞれ「食べる」「飲む」の①「～れる」の語形・②「お～になる」・③「敬語の特定語」である。ここでは、「食べる」と「飲む」の「敬語の特定語」が同じ「めしあがります」と表現できることも学べる。

次は、「行く」の尊敬表現①「いかれます」・②「おいきになります」・③「いらっしゃいます」と「言う」の①「いわれます」・②「おいきになります」・③「おっしゃいます」の3パターンが学習できる。

歌詞1番の最後は、エサを「やる」の尊敬表現①「やられます」・②「おやりになります」・③「くださいます」の3パターンである。

◆♪ 歌詞2番

<謙譲語>

けんじょうご けんじょうご けんじょうご
 (“Kenzyōgo” “Kenzyōgo” “Kenzyōgo”)

じぶんたちが へりくだる ことば です。
(Jibun-tati ga herikudaru kotoba desu.)

めうえのひとに なにかを いたします。
(Meue no hito ni nanika o itasimasu.)

ウチのひとが なにかを いたします。
(Uti no hito ga nanika o itasimasu.)

そちらを おたずねします。 うかがいます。
(Sotira o o-tazune-simasu. Ukagaimasu.)

おはなしを おききします。 うかがいます。
(Ohanasi o o-kiki-simasu. Ukagaimasu.)

あなたに おみせします。 おめにかけます。
(Anata ni o-mise-simasu. Omenikakemasu.)

あなたに おあいします。 おめにかかります。
(Anata ni o-ai-simasu. Omenikakarimasu.)

てがみを おうけとりします。 いただきます。
(Tegami o o-uketori-simasu. Itadakimasu.)

へんじを おあげします。 さしあげます。
(Henzi o o-age-simasu. Sasiagemasu.)

2番の歌詞は謙譲語である。話題の人(ここでは話者・書き手)がへりくだった表現として歌詞に示されている。

ここも、「けんじょうご けんじょうご けんじょうご」という歌詞で始まるので、謙譲語が話題となることを暗示したのとなっている。そのあとの「じぶんたちが へりくだる ことばです。」で、謙譲語の機能を一言で示している。次の「めうえのひとに なにかを いたします。」「ウチのひとが なにかを いたします。」は、機能の追加説明として、また謙譲表現の一例ともなっている。動詞「する」の「謙譲の特定語」として「いたします」を示したが、「お～する」のパターンの表現はないので、これも学習者にとって注意が必要である。

次の「そちらを おたずねします。うかがいます」と「おはなしを おききします。うかがいます。」は、それぞれ「尋ねる(ここでは訪問の意味。他では質問の意味でも使用。)」と「聞く」の謙譲表現で、2つのパターン(①「お～する」・②「謙譲の特定語」)を示したものである。「うかがいます」は「尋ねる」「聞く」の共通した「謙譲の特定語」である。また「そちらを おたずねします。 うかがいます。」(訪問の意味)となっていて、歌詞にはないが、「うかがいます」のほうは助詞「に」を取り、「～に うかがいます。」となることも指導するといえると思われる。

また、「おはなし」は「はなし」に丁寧語を作る接頭語「お」が付いていること、この後の歌詞にはないが接頭語「ご」が付いて丁寧語になるものもあること、さらに付けることができないものもあることも追加の学習として取り上げてほしい。因みに、このあとの歌詞に「てがみ」と「へんじ」が出てくるが、これらにはそれぞれ接頭語の「お」「ご」を付けて「おてがみ」「ごへんじ」などと丁寧な名詞の表現になることも、この機会に扱うといえると思われる。

次の「あなたに おみせします。おめにかけます。」「あなたに おあいします。おめにかかります」は、①「お～する」のパターンとして「おみせします」「おあいします」と②「謙譲の特定語」としての「おめにかけます」「おめにかかります」を示している。

歌詞2番の最後の部分「てがみを おうけとりします。いただきます。」「へんじを おあげします。さしあげます。」も、①「お～する」のパターンの「おうけとりしま

す。」「おあげします」と②「謙譲の特定語」の「いただきます」「さしあげます」が学習できる。

「敬語の歌」の歌詞には、尊敬語表現の主な3パターン、謙譲語表現の主な2パターンを織り込んだが、その「パターンの使い分け」についても併せて指導していただきたい。

4. おわりに

人々の周りは音楽にあふれている。テレビを見てもラジオを聞いても、お店に入っても音楽が聞こえている環境がある。なぜこんなにも多くの音楽があるのだろうか。反対にこれらの音楽がなかったらどんなものになるのか考えてみるとわかりやすいかもしれない。音楽を聴きたい、歌を歌いたいなど多くの人がそう感じることもあるだろう。リラックスするため、楽しい雰囲気を作るためなど目的はいくつもある。日本語学習でも緊張緩和や楽しくする効果があるはずである。「敬語の歌」にもその効果が期待できる。

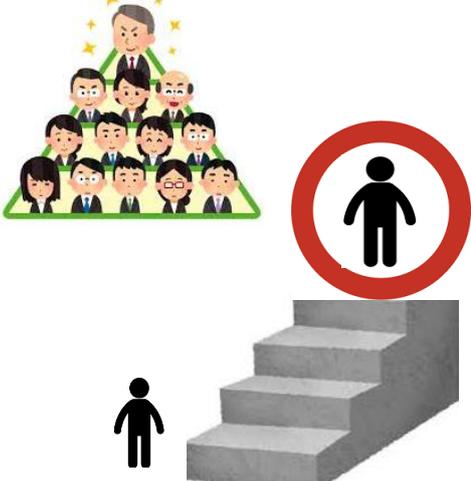
例年「日本語教育のための音楽教材」開発の最後の段階として、CD音源の作成をミュージシャンと共同で行なっているが、「敬語の歌」については残念ながら、コロナ禍の影響のためにその機会が作れなかった。コロナ禍が終息したら必ずや音源を作成する意向である。必要とされる方々には、もう少し待っていただきたい。

参考文献

- 1) 大石初太郎(1974)、『ことばシリーズ1 敬語』pp25-36、「敬語の仕組み」、文化庁
- 2) 齋藤孝(2014)、『これでカンペキ！ マンガでおぼえる敬語』、岩崎書店
- 3) 田近洵一・宮腰賢 監修(2008)、『場面でわかる正しいことばづかいと敬語⑤ 敬語の5分類とその使い方』、くもん出版
- 4) 文化庁(2007)、「敬語の指針」文化審議会答申
- 5) 南不二夫(1987)、『敬語』、岩波書店
- 6) ミニマル・Blockbuster(2015)、『イラストでわかる敬語の使い方』 pp8-15、彩図社
- 7) 溝口博幸(2008)、「楽しく学べる文法学習のための音楽教材」日本語教育学世界大会 2008（韓国）＜第7回日本語教育国際研究大会＞ 予稿集 1、pp235-238
- 8) OXFORD, Rebecca (1990) “Language Learning Strategies What Every Teacher Should Know ”、Newbury House (A Division of Wadsworth, Inc.、『言語学習ストラテジー（外国語教師が知っておかなければならないこと）』(2001) 宍戸通庸・伴紀子 訳、凡人社
- 9) GOTTSCHIEWSKI, Hermann (2008)、音楽教育と外国語教育の接点 ―語学学習における歌唱のすすめ― JAPANESE STUDIES AROUND THE WORLD 2007” No. 14、pp105-114

敬語の歌
けいご うた
The Song of Honorifics

1 尊敬語 (そんけいご respectful words)

そんけいご “Sonkeigo”	そんけいご “Sonkeigo”	そんけいご “Sonkeigo”	
めうえのひと を Meuenohito o	うやまう uyamau	ことば です。 kotoba desu.	
めうえのひと が Meuenohito ga	<u>さ</u> れます。 s-aremasu.	<u>な</u> さいます。 Nasaimau.	
ソトのひと が Sotonohito ga	<u>さ</u> れます。 s-aremasu.	<u>な</u> さいます。 Nasaimau.	

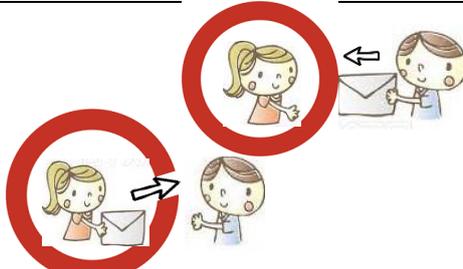
<u>た</u> べられます。 Tabe-raremasu.	<u>お</u> たべ になります。 O-tabe-ninarimasu.	<u>め</u> しあがります。 Mesiagarimasu.	
<u>の</u> まれます。 Nom-aremasu.	<u>お</u> のみ になります。 O-nomi-ninarimasu.	<u>め</u> しあがります。 Mesiagarimasu.	
<u>い</u> か れます。 Ik-aremasu.	<u>お</u> いき になります。 O-iki-ninarimasu.	<u>い</u> らっしゃいます。 Irassyaimasu.	
<u>い</u> わ れます。 Iw-aremasu.	<u>お</u> いい になります。 O-ii-ninarimasu.	<u>お</u> っしゃいます。 Ossyaimasu.	

どうぶつたち に えさを Dōbututati ni esa o	<u>や</u> られます。 yar-aremau.	
<u>お</u> やり になります。 O-yari-ninarimasu.	えさを <u>く</u> ださいます。 Esa o kudasaimau.	

2 謙譲語 (けんじょうご humble words)

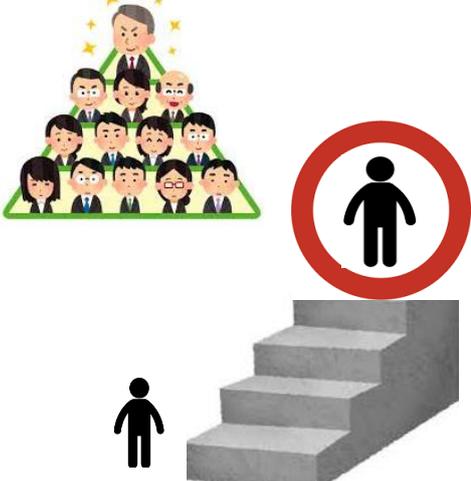
けんじょうご “Kenzyōgo”	けんじょうご “Kenzyōgo”	けんじょうご “Kenzyōgo”	
じぶんたちが Zibuntati ga	へりくだる herikudaru	ことば です。 kotoba desu.	
めうえのひとに Meue no hito ni	なにかを nanika o	<u>いたします。</u> itasimasu.	
ウチのひとが Uti no hito ga	なにかを nanika o	<u>いたします。</u> itasimasu.	

そちらを Sotira o	<u>おたずね</u> します。 o-tazune-simasu.	<u>うかがいます。</u> Ukagaimasu.	
お話を Ohanasi o	<u>おきき</u> します。 o-kiki-simasu.	<u>うかがいます。</u> Ukagaimasu.	
あなたに Anata ni	<u>おみせ</u> します。 o-mise-simasu.	<u>おめにかけます。</u> Omenikakemasu.	
あなたに Anata ni	<u>おあい</u> します。 o-ai-simasu.	<u>おめにかかります。</u> Omenikakarimasu.	

てがみを Tegami o	<u>おうけとり</u> します。 o-uketori-simasu.	<u>いただきます。</u> Itadakimasu.	
へんじを Henzi o	<u>おあげ</u> します。 o-age-simasu.	<u>さしあげます。</u> Sasiagemasu.	

敬語の歌
けいご うた
The Song of Honorifics

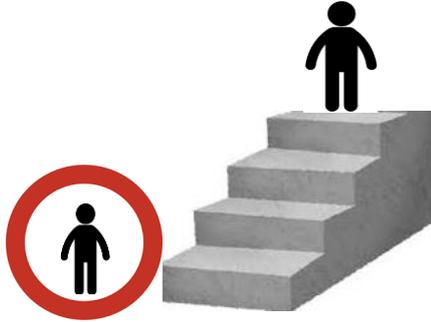
1 尊敬語 (そんけいご respectful words)

そんけいご “Sonkeigo”	そんけいご “Sonkeigo”	そんけいご “Sonkeigo”	
めうえのひと を Meuenohito o	うやまう uyamau	ことば です。 kotoba desu.	
めうえのひと が Meuenohito ga	<u>されます。</u> s-aremasu.	<u>なさいます。</u> Nasaimau.	
ソトのひと が Sotonohito ga	<u>されます。</u> s-aremasu.	<u>なさいます。</u> Nasaimau.	

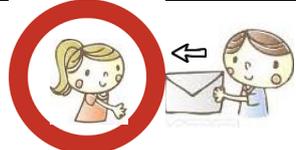
<u>たべられます。</u> Tabe-raremasu.	お (① _____)。 〈 to eat 〉	<u>めしあがります。</u> Mesiagarimasu.	
<u>のまれます。</u> Nom-aremasu.	<u>おのみになります。</u> O-nomi-ninarimasu.	(② _____)。 〈 to drink 〉	
<u>いかれます。</u> Ik-aremasu.	お (③ _____)。 〈 to go 〉	<u>いらっしゃいます。</u> Irassyaimasu.	
<u>いわれます。</u> Iw-aremasu.	<u>おいしいになります。</u> O-ii-ninarimasu.	<u>おっしゃいます。</u> Ossyaimasu.	

どうぶつたちに えさを <u>やられます。</u> Dōbututati ni esa o yar-aremau.		
<u>おやりになります。</u> O-yari-ninarimasu.	えさを (④ _____)。 Esa o 〈 to give 〉	

2 謙譲語 (けんじょうご humble words)

けんじょうご “Kenzyōgo”	けんじょうご “Kenzyōgo”	けんじょうご “Kenzyōgo”	
じぶんたちが Zibuntati ga	へりくだる herikudaru	ことば です。 kotoba desu.	
めうえのひとに Meue no hito ni	なにかを nanika o	<u>いたします。</u> itasimasu.	
ウチのひとが Uti no hito ga	なにかを nanika o	<u>いたします。</u> itasimasu.	

そちらを Sotira o	<u>おたずね</u> します。 o-tazune-simasu.	<u>うかがいます。</u> Ukagaimasu.	
お話を Ohanasi o	<u>おきき</u> します。 o-kiki-simasu.	(⑤ _____)。 〈 to listen 〉	
あなたに Anata ni	<u>お(⑥ _____)</u> 。 〈 to show 〉	<u>おめにかけます。</u> Omenikakemasu.	
あなたに Anata ni	<u>おあい</u> します。 o-ai-simasu.	(⑦ _____)。 〈 to meet 〉	

てがみを Tegami o	<u>おうけとり</u> します。 o-uketori-simasu.	<u>いただきます。</u> Itadakimasu.	
へんじを Henzi o	<u>おあげ</u> します。 o-age-simasu.	(⑧ _____)。 〈 to give 〉	

敬語の歌
けいご うた
The Song of Honorifics

作詞・作曲:Mizo

♩=120

MIDI 1

そん けいご そん けいご そん けい こん
 けんじょうご けんじょうご けんじょう こん

めうえのひを うやまう ことばで す めうえの
 じぶんたちが へりくだる ことばで す めうえの

ひとがされます なさいます ソートの ひとがされます なさいます
 ひとになにかを いたします ウチの ひとになにかを いたします

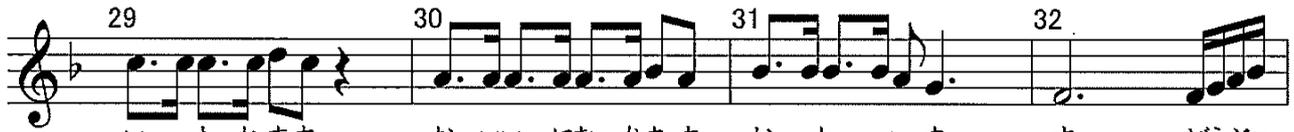
たべられます おたべになります めしあがります す
 そちらを おたずねします うかがいます す



のーまれます おのみに なります めしあかりま す
おーはなしを おききーしーます うかがーいま す



いーかれます おいきに なります いらっしゃいま す
あーなーたに おみせーしーます おめに かけま す



いーわれます おいいに なります おっしゃーいま す どうぶつ
あーなーたに おあいーしーます おめにかかりま す てかみを



たーちに えーさを やられます おやりに なります えさをくー ださいます
おうけとりします いただきます へんじを おあげーします さー しあげます

